

「五十年前の広島県政—昭和40年前後の行政文書から—」開催中!

2015.2.16 (レポーター 日高 愛)

現在、2015年最初の収蔵文書の紹介展として、「五十年前の広島県政」を開催しています。

50年前というと、私自身はまだ知らない時代です。昭和40年代の広島はどんなことがあったのでしょうか。

今回の展示では、県の行政文書や刊行物(行政資料)を通して、この時期の広島県の様子について紹介しています。写真や図、解説などから、当時を想像したり思い出してみることができます。



東京オリンピック

オリンピックを成功させるため、広島県内でも県民運動が推進され、こなしおりが出されていました。聖火リレーなどの資料もあり、日本初のオリンピック開催の盛り上がり伝わってきます。



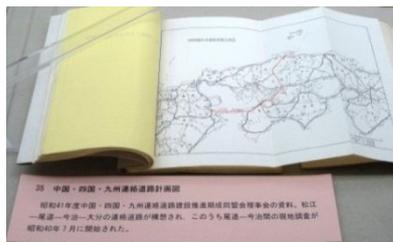
建設ラッシュ

建設ラッシュの始まりとも言えるこの時代、広島を中心地は、公共施設やビルなどあちこちから建設が進み、街の景観も一変していきます。今はなき旧市民球場の姿も。当時の広島の街に入り込んでいけそうな写真です。

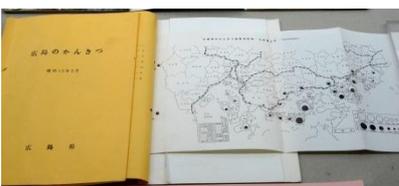


交通網の整備

鉄道や道路など交通網の整備が進んだのもこの時代。これは、中国・四国・九州連絡道路計画図です。現在全国ほどこでも道路でつながっていますが、その当たり前の原点がここにあります。



広島のかんきつ



今やレモンやみかんなどで全国的に有名な広島ですが、この頃に柑橘類の生産量が大きく増加したようです。「広島のかんきつ」というわかりやすいタイトルのこの資料。栽培・生産量の分布図からは、現在とのつながりや共通点が見えてきます。

展示担当者に聞きました!



展示資料の集め方

この展示テーマの理由

2020年開催に向けて盛り上がる東京オリンピック。日本で初めて開催されたのが50年前ですが、その頃の広島県にも様々なターニングポイントとなる出来事がありました。東京オリンピックと同じ時代の広島県政にも親しみをもっていただこうと、今回の展示を企画しました。

当館所蔵の行政文書と行政資料の中から、昭和39~41年に絞り込んでその表題と件名目録のリストを作り、この時代の主な出来事に関するものやテーマに沿った資料を見つけると、実際の資料の内容を見て展示に使用する資料を選び出します。

また、広島県庁舎とその付近の航空写真など、これまでに移管・寄託などにより受け入れた資料の中で担当者が注目していた資料も活用します。文書が中心になる行政文書関係の展示ですが、親しみやすさをもってもらうため、写真や地図などの資料も展示したいと思いました。「広島平和記念都市建設計画 街路網・公園緑地図」は、探し出すのに苦労しましたが、当時の広島の詳細な様子がわかる貴重な資料です。

みどころ

当時の広島の街の様子が分かる航空写真、工場・鉄道など開発の様子や社会情勢が分かる写真や資料が見どころです。展示した資料は、展示終了後に実際に手に取って見ていただくことができますので、閲覧・利用のきっかけになればと思っています。

さまざまな社会問題

昭和38年1月、広島とは思えないこんな豪雪がきっかけとなり、村を離れる人が増え、過疎化が進んでいきました。

発展の一方で、過疎、公害、交通事故、少子高齢化などの社会問題も発生し、その対策の出発点でもありました。

行政資料は、それら一つ一つの事について、統計や資料などをわかりやすくまとめてあり、過去を知るのにとっても役立ちます。また、デザインやレイアウト、写真、状態などからも当時を推察することができます。



今回展示されている58点の資料を見ると、昭和40年代はいろいろな意味で出発点であり、現在との接点を感じる時代であったことがわかります。過去の事実を個々に詳細に明らかにすることができる資料の力と、展示担当者の思いや資料収集・整理の積み重ねを感じる展示です。

当館には、行政文書約56,000冊、行政資料約97,000冊があります。行政文書や行政資料の整理業務を担当している私にとって、一つ一つの資料が、いつかどこかで誰かの役に立つ時が来るかもしれない、そんな想いで資料整理と向き合っていきたいと考えています。